

生育海藻：イソモクを優占種としたガラモ場

【対象面積の海藻類について】

イソモクがほぼ占有しているが水深が深くなるとヤツマタ、マジリモク、フクレミモク、キレバモク等のガラモ見られた。その他にウミウチワ、スギノリ、オバクサ、ソゾ属が見られた。
また、2月頃には一面をフクロノリが覆う。

【湿重量の計測、確実性評価について】

ツボ狩りは、対象面積の海藻類を代表する海藻が生育する場所（濃生（被度95%））において1m方形枠を設置し、枠内の海藻を採取して重量（kg）を計測した。ツボ狩り時も全面をヘラで綺麗に剥ぎ取ってしまうと翌年に生えずらい為、ある程度の長さを残している。
更に対象面積内では起伏が激しく、水深1m-8mまでであるが対象面積は平面で算出している。
これらの事から湿重量、面積において過小評価を行っている為、自己評価を100とする。

2月頃、
全体を覆う
フクロノリ



重量：9.91kg

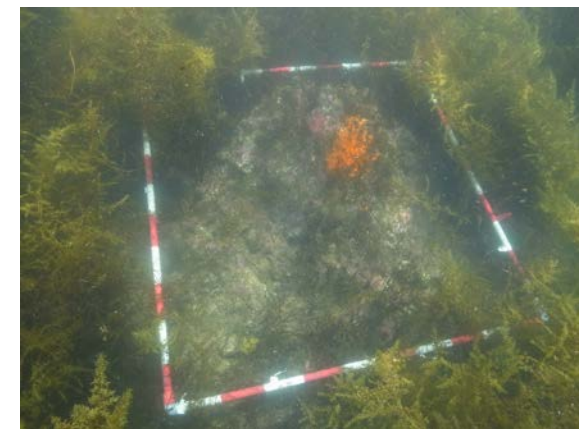
容器重量：1.8kg

単位面積当たりの湿重量（被度95%）
=（重量－容器重量）÷1m²×95%
= 7.704 kg/m²

7.704 × 10
= 77.04 t/ha



ツボ狩り前



ツボ狩り後



狩り残し